



新生児聴覚と帯状疱疹 市長の考えは

高松 幸雄 議員

助成・補助を早急に進めていきたい

市長



▲神奈川県健康増進課リーフレットより

問 生まれつき音を聞くことが困難な難聴児は、千人に1人から2人いる。愛知県における新生児聴覚検査の費用を助成している自治体の状況は。

答 令和5年4月現在、県内54市町村のうち51市町村において助成を実施している。

問 助成を実施していない3つの市町村はどこか。

答 本市のほか、弥富市、東郷町だ。

問 市町村には地方交付税の措置がされているが、新生児聴覚検査の費用を助成する考えは。

答 実施に向けて進めていきたい。

問 帯状疱疹のワクチン接種の助成についても本市議会でも国に意見書を提出した。近隣市町村も助成を決める傾向にあり、本市でも助成をすべきと考えるが。

答 国が率先して補助をしていくべきだと考えているが、このまま何もせずというわけにもいかない。近隣自治体の状況もかなり変わってきているので、市として補助制度の導入について早急に進めていきたい。

本市0歳～2歳児保育料の無償化を

問 本市が0歳～2歳児の保育料を無償化した場合の費用は。

答 約8千万円必要。

問 本市の考えは。

答 0歳～2歳児の保育料は国基準の半額以下にして他市よりも低い金額を設定している。副食費補助を市独自に行うなど、切れ目のない支援を実施している。子育てをするなら愛西市と云ってもらえるよう、今後取り組んでいきたい。

問 本市における0歳～2歳児保育料の現状と近隣自治体の状況は。

答 近隣市で保育料の最高額を比較した場合、本市は3万7700円、津島市は5万2千円、あま市は4万8千円、弥富市は4万5500円、稲沢市は5万2千円となり、本市が最も安い。

その他の質問

- 愛西市権利擁護支援センターの役割
- 子どもの弱視早期発見を